

民間資金等活用事業推進委員会第14回総合部会（概要）

日 時：平成19年6月15日（金）13：00～15：00

会 場：中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室

出席者：山内部会長、前田部会長代理、碓井委員、重川委員、高橋委員
三井専門委員、光多専門委員、美原専門委員、宮本専門委員

事務局：伊藤民間資金等活用事業推進室長、町田参事官、後藤補佐、荻野補佐

議事概要：

（1）VFM評価について

○事務局よりVFM評価関連資料について説明。

- ・VFM評価についてのパブリックコメントは、6主体から24件の御意見を頂戴した。
- ・前回の総合部会の御議論、パブリックコメントを踏まえて、ガイドラインの改定案の修正事務局案を作成した。

○委員からの主要な意見の概要は以下のとおり。

- ・DSCRに関する脚注について、説明が不十分なので、松本専門委員の御意見を踏まえて修正する。
- ・6ページの(10)の記述に関し、事業の企画、特定事業評価、事業者選定などがあるが、3つ以外に視点はないので、『など』は削除する。
- ・7ページの囲みの記述に関し、バリューは支払いのみでみるべきものでなくという表現は混乱を与えるので、2006年の英国政府の報告書を確認し、表現を修正する。
- ・割引率については、事業によって異なる割引率を適用するという考え方もあるが、まだ議論の決着が付いていないので、原案どおりとする。
- ・パブコメ7の効率性と公平性について、PFIでは『効率性』という言葉を使い狭い意味で使っていることにも鑑み、『公平性』について脚注で触れる等解説を加えた方がいいのではないかという指摘があったが、基本方針における整理に基づいた記述であるので、その枠組みでご理解いただくこととする。
- ・9ページの財政支出の期待値、分散の記述について、『財政支出額の分散』という記述が毎年度の支出額の平準化ととられるおそれがあるので、誤解されないように記述を修正する。
- ・15ページの活動因子の記述について、『活動因子・・・』という括弧内の表現が分かりにくいのではないかという指摘があったので、『ABC会計のように』という説明に修正する。
- ・6ページの(10)について、11ページの表現と比較したときの表現ぶりについて気になるので、改善を図るときに、状況を踏まえて、適切なとらえ方をするなど表現を工夫する。

- ・(部会長) D S C Rについては確認した上で修正する。その他修正を加えた上で29日の委員会に報告する。修正については、部会長一任とさせていただく。

(2) プロセスガイドラインの改定について

○事務局より審査方法及び総合評価に関するプロセスガイドラインの改定資料について説明。

- ・プロセスガイドラインについてのパブリックコメントは、3主体から6件の御意見を頂戴した。

○委員からの主要な意見の概要は以下のとおり。

- ・要約版の位置づけを明確にする必要があるので、誤解のないように修文する。
- ・(部会長) 29日の委員会までに修正して、原案として提出する。

(3) 今後の進め方について

○事務局より平成16年の中間報告に関する取組状況について説明した上で、今後の進め方について審議。委員からの主要な意見の概要は以下のとおり。

- ・防災の観点から、P F Iについて検討を加えることも必要ではないか。
- ・P F Iをよりよい制度にしていくためには、①事業者選定方式、②公物管理法との関係、③標準様式(契約書)、④S P Cなど民間事業者の形態、⑤ファイナンス、⑥V F Mの積み残した問題について検討する必要がある。
- ・契約・直接協定等、一部の当事者が握っているノウハウを公開し、制度改定につなげる仕組みが必要。
- ・提案金額について要求水準ではなく仕様と合わせているのでズレが生じているという問題と、モニタリングの項目について数値的なデータが全く残っていないという問題がある。
- ・リスク、様々なリスクイベント、及びトランザクションコストについて調査する必要がある。
- ・11月までに中身の検討ではなく、何がどのように不足しているのかという議論だけでも整理して、それを詰めていったらよいのではないか。
- ・(部会長) 事務局の方で本日の御意見をまとめてもらい、29日の推進委員会の場で御議論いただいて方向性を出していただく。

以上

[問合せ先]

内閣府 民間資金等活用事業推進室

TEL. 03-3581-9680, 9681